

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(5)番 福山市立 城東 中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力	論理的思考力・表現力	協働性	自己指導力
めざす子ども像 (21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた生徒の姿)	課題を見つけ、思考・判断した過程や結果を見通しながら、集団で解決しようとしている。	複数の意見の相違点を踏まえ、より良い考えを創り出し、根拠を明らかにして、相手に分かりやすく説得できる。	相手意識を持ち、積極的に人間関係を築き、より良く生きようとしている。	様々な活動に進んで挑戦し、責任を持ってやりとげようとしている。自らの行動や学びが適切であるか振り返りながら、より良い生き方を考え創り上げようとしている。

2 授業の現状

ペア・グループ学習を取り入れ、考えを深めたり広めたりする場面の設定の授業も増えてきた。しかし、生徒が自ら主体的に学ぶ授業にはなっていない。

転換

3 めざす授業の姿

生徒が「やってみたい！ 考えたい！ 説明したい！」と思い、自分でじっくり考え、他者の意見も踏まえ、自己の考えを広げる授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
1 まなび合いによるわかる授業の創造 ・個人思考・グループ思考、およびまとめ、振り返りの徹底 2 家庭学習の定着 ・授業の振り返りや各自の課題を意識した自主学習ノートの活用	1 ○「個人思考→交流→まとめ」の流れができています。 △活発な交流がまだできていない。まとめが不十分である。 2 ○自主学習ノートで学習する内容を教科で示すことができた。	1 読解力を付ける取組を行う。 ・問題文や資料を読み取る視点を教え、必要な数値やキーワードを抜き出させる。また、問題文を自分の言葉で説明させる。 ・何を狙って話し合いをするかを明確にする。	1 ○教科書の内容や問題文を自分の言葉で説明させた。 ○何を読み取ればよいかを指導した。 △読解力を付けるための課題を用意したが、個々の力に合ったものにはならなかった。	1 子ども主体の授業づくりを行う。 ・生徒が「やってみたい」「考えたい」「説明したい」と思う授業をつくる。 ・授業で、「他者との出会い」「投げかけ」を工夫し、学び合いの場を設定する。	1 ○子ども主体の授業づくりを意識して行うことで、生徒が意欲的に授業に取組む姿が以前よりよく見られるようになった。 △生徒だけで深められないとき、教師がどう関わっていくのかが今後の課題である。

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	75 (-1)	59 (-2)
数学	63 (-3)	42 (-4)
理科	68 (+2)	

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語		
数学		
理科		
英語		

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 22/24	・前は持久走と反復横跳びを重点課題と設定した。その結果、反復横跳びは男女とも全学年県平均以上、持久走では男女とも一学年以外は県平均以下であった。	重点課題 ①持久力 ②50m走	・課題となる持久力と、瞬発力を意識した補強運動や準備運動を取り入れる。
(女子) 17/24			

目標値	全項目を県平均以上にする。
-----	---------------

「基礎・基本」定着状況調査〈生徒質問紙調査〉(%)

内容	国語		数学		理科		英語	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	23.9	47.1	55.1	26.8	21.7	47.1	35.5	37.0
学校が楽しい	81.2							

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	11.8	35.3
仕事に充実感がある	11.1	16.7

児童生徒アンケート(%) (2)月実施

質問項目	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	77.5	22.5
自分の考えは、認められている	78.6	21.4

暴力行為発生率・不登校生徒出現率(%) (2)月末現在

暴力行為	0	不登校	5.28
------	---	-----	------